

支部友会だより



日本山岳会東海支部

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8 OMC ビル

電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924

印刷 (有) アジマプリント名古屋市北区中味鈍 2-438

「初めての北海道登山」



黒岳(1,984m)から旭岳への縦走路



旭岳 (2,291m.) 山頂



美瑛の丘 牧草ロール人形



高山植物と北鎮岳 (2,244m)

今年の夏、とうとう北海道の山へ登る機会に恵まれ、北海道初心者にはうってつけの黒岳～旭岳の縦走をして参りました。ネットで検索すると「2000m 級の山々が連なる大雪山系は、アイヌ語で『カムイミンタラ (神々が遊ぶ庭)』と呼ばれ、夏には高山植物の花々が咲く雲上の楽園」ともあるとおり本州には無い雄大な景色に圧倒されます。折しも今年、大雪山縦走路開削 100 周年との事でした。

東海支部の諸先輩にも北海道の山々に魅了され幾度となく足を運ばれる方々がいらっしゃいますが納得実感！私も癖になりそうです。

(支部友会委員 林 須美子)

山行報告 令和4年6月～9月

6月17日(土) ☆☆

山城：静岡市 山名：山伏(2,013m)

(往路) 金山 6:50→新東名・新静岡 IC→西日影沢 10:15 (復路) 西日影沢 17:40→入浴→新東名・新静岡 IC→金山 22:30

ルートと所要時間

西日影沢 10:28～大岩 11:20～蓬峠 12:28～分岐 14:16～山伏 14:27～蓬(わさび)峠 16:00～登山口 17:15 歩行時間：6時間13分

参加者(7名) CL倉橋 智司 SL山田 卓 記録・写真：岡 直人・浦野 恵美子 会計：右高 由子 体操：黒石 真弓 報告：加藤 恵美



(参加者の感想)

・出だしから徒渉、その後は結構な急登が続き、想像していたよりも登り甲斐の有る山でした。風が無く、気温が上がり水を沢山飲みました。少し足りなくなり、下山時に水場で補給出来たので助かりました。持っていく水の量は再検討が必要だと思いました。途中でトラブルも有りましたが、みんなで協力しながら無事に下山出来たと思います。(山田 卓)

・考えていたより、思いのほか登り応えのある山で、事前の計画の重要性、水分補給やヘッドライトの必要性など改めて感じる貴重な山行でした。(岡 直人)

・山行は技量・体力・知識に加え、リーダー始め、参加者皆さんの思い遣りと気遣いに、感謝と大切さを学ぶ、思い出深い山行でした。(浦野 恵美子)

・山伏岳は登山の A～Z が学べる山でした。まさに山伏修験道の行でした。ガレ場、鎖場、沢渡り、ザレ場、稜線、木道これらを全て経験することができました。(右高 由子)

・それぞれの力を発揮し、全員無事に下山することができたときの喜び! 今回ほど下山時の安堵感を感じたことは、いまだかつてありません。(黒石 真弓)

・思っていたより険しい山でした。沢渡り、ザレ場などいろいろ経験できました。大変でしたが、登り甲斐があり、思い出に残る山行でした。皆で

無事に下山することができた良かったです。

(加藤 恵美)

<リーダーコメント>

山行の数日前までの降雨で思った以上に沢の水量が増しており、複数回の渡渉があった。ザレ急登での体力の消耗も激しく、想像以上に山行時間が掛かった。山頂付近の道迷い防止でマーキングしながら登頂した事を後から聞き、サブリーダーの機転と、メンバーの協力があつた事で日没前に無事下山できた。今回の山は名古屋への帰着が22:30を超えた事、現地までの移動時間・山行時間の長さを考えると、季節、参加者次第では別の登山ルートの選択が必要だと感じた。

6月18日(日) ☆

山城：浜松市 山名：秋葉山(866m)

(往路) 金山 6:30→浜松浜北 IC 8:30→登山口 駐車場 8:50 (復路) 浜松スマート IC 17:50→金山市民会館 19:45

ルートと所要時間

登山口駐車場 9:00～三ノ鳥居跡 9:20～秋葉寺 11:45～秋葉山 13:03/14:03～三ノ鳥居跡 15:35～登山口駐車場 15:50 歩行時間 5時間30分

参加者(4名)

CL近藤 政仁 会計：島田 逸子 記録・感想 島川 桂子 感想・写真 熊谷 美喜子



(参加者の感想)

・湿度が高く蒸し暑く、体力を奪われる中熱中症に気をつけながら急登頑張りました。樹林帯を抜け眺望が見える場所に出た時に、曇り空で全く期待していなかった富士山が目に見え飛んできたのには大歓声があがり、疲れや足の痛みも吹っ飛びました。色々と木や花の名前等も教えていただきました。ありがとうございました。(島川 桂子)

・二度目の秋葉山。山行日は湿度が高く、辛い山行となったが歩け歩けで何とか登りきる。下山路ではぐったりの所で「冷え冷えのゼリー」を頂き、生き返る。(島田 逸子)

・梅雨の中、好天に恵まれましたが、蒸し暑くて、汗がたくさん出てタオルを二回も交換してしまいました。期待してなかった富士山が見えたのは、大感激で、みなさん写真を沢山撮って見えました。そして登山中では、たった一輪のサユリにも感

動でした。山頂の、秋葉神社の金の鳥居と金の茅の輪は珍しくて参拝者も沢山みえて記念撮影をしていました。(熊谷 美喜子)

<リーダーコメント>

名古屋には秋葉山円通寺が有り、昔はここから秋葉街道を歩いて秋葉山本宮秋葉神社へお参りしていた。今日は名古屋から秋葉山本宮秋葉神社へ車で移動し、下社から上社まで登り秋葉山本宮秋葉神社で金の茅の輪くぐりで役病退散、健康を祈願する。

.....

<夏山>7月8日(土) 9日(日) ☆

山城：北アルプス 山名：乗鞍高原・五色ヶ原

(往路) 日本特殊陶業市民会館 7:25→名古屋高速・中央道→乗鞍高原観光センター11:30/12:20 昼食→乗鞍高原休暇村 12:25→観光センター 13:45→ジョイフル朴ノ木 14:50

(復路) ジョイフル朴ノ木 6:45→五色ヶ原案内センター6:55→市民会館 19:50

ルートと所要時間

初日：乗鞍高原休暇村 12:28～牛留池 12:35～善五郎滝 13:00～滝見台 13:15～観光センター13:35
2日目：五色ヶ原案内センター7:00～出合い小屋 7:50～日雇声滝 9:28～岩魚見小屋 10:48/11:45 シラビソ小屋 13:10/13:42～布引滝 15:30～出合い小屋 15:50～案内センター16:25

参加者(12名) CL金谷 正起 AD尾上 昇
AD奥野 明美 SL・会計：中島 美枝 会計：伊与田 玲子 記録：椿 利枝子 竹本 美香 写真：久野 輝美 感想：佐藤 千景 佐藤 雅弘 浦野 恵美子 山田 卓



(参加者の感想)

・五色ヶ原は高山駅に貼ってあった、布引滝のポスターに一目惚れして以来、死ぬ前に一度は行ってみたい絶景の一つでした。予報通りの雨でしたが、苦勞して歩いた甲斐がありました。布引滝の風景がより一層幻想的で、感動を超えていました。あの光景は一生忘れられない、宝物です。又、違うコースにも行ってみたいくなりました。支部員と

なりましたが、支部友山行の雰囲気がとても良いので、又機会がありましたらよろしくお願ひします。(竹本 美香)

・乗鞍高原と五色ヶ原をグルッとまわるコースで私は夫と参加。当初別のコースを希望していたがリーダーのナレーションに引き寄せられた。生憎の天気だったが暑さでバテルこともなく、むしろ雨でも降り方によっては素晴らしい絶景に出会うことや、さらにマイナスイオン満載の恩恵をうけることが出来た。12人とコンパクトな参加者数だったが宿泊施設やハイキングコースもほぼ貸切。オマケに帰りの道中も全く混まないと言うミラクル続き、今年の運を使い果たしたまさにエクセレントな山行でした。(佐藤 千景)

・このところ続いた大雨の影響でしょうか、川の水が増水しており、善五郎の滝は水量と水音が怖いくらいの迫力でした。晴天では有りませんでした、が、弱い雨が断続的に続き、森の中ではコケが元気良かったです。それほど気温も上がらず、虫が飛び回る事も無く、みんなで植物を見ながら快適に歩けたと思います。ガイドの方の説明も興味深い内容で、普段の山歩きとは違った山行になり、とても楽しかったです。ガイドさんからは木道歩きのコツを教えてもらい、転倒すること無く歩きました。途中の幅広い木道には滑り止めのネットが貼ってありました。とても良かったと思います。安心して歩けました。(山田 卓)

・二日間レインウェアを着てしまいましたが、大降りには見舞われず、雨天山行の貴重な経験が出来ました。生き生きと可憐に咲く山野草、陽射しを覆い涼しさをもたらしてくれる木々の下、雨に濡れた木道は滑りそうでハラハラドキドキしました。五色ヶ原の最終地点の『布引滝』手前の、急な木段・丸木の吊り橋は緊張感マックスでした。『静』と『動』が融合した乗鞍高原&五色ヶ原に癒されました。(浦野 恵美子)

・善五郎滝は圧巻でした！乗鞍の夏の息吹を感じながら今夜の宿泊地「ジョイフル朴ノ木・宿讎の湯」温泉に。サウナもあり、露天風呂もありの好立地ホテル。晚餐前の尾上さんの「氷壁」裏話は実に面白かったです！ジオパーク・乗鞍岳をバックにしたこんな環境システムがあるなんて全然知らなくてビックリする事ばかり。ガイドの森さんと長瀬さんありがとうございました。今後も四季折々の景色や山容をぜひ楽しみたいものです。今回のツアーではモヤや雨のおかげで滝や沢が豪快になり感動もひとしお、この時期にしては虫も少なかったのではないのでしょうか。次回は秋の紅葉や冬のアイスクライミングもアリかと思います。(佐藤 雅弘)



<リーダーコメント>

予報通り生憎の雨が降る二日間、この時期は覚悟の上でしたが雨の五色ヶ原は初めて。趣は格別でこれも良かったかと思えます。奥野ADが木道で足を滑らせ怪我をしましたが慎重な歩行が必要と再認識しました。雨のお陰で早く宿に入り尾上昇ADの『ナイロンザイル事件』と『中瀬古夫妻物語』のお話は夕食を挟み3時間に及び酒も進み全員感銘を受け貴重な時間を過ごすことが出来ました。記録として幾世代にも語り続けて頂きたいと切に願います。

<夏山>7月15日(土) 16日(日) ☆☆

山城：後立山 山名：唐松岳 (2,696m)

(往路) 金山 6:27 東別院→小牧 IC6:45→安曇野 IC 9:30→八方尾根ロープウェイ駐車場 11:00 (復路) ロープウェイ駐車場 12:00→入浴 白馬塩の道温泉 倉下の湯 12:20→13:03 ランチ 13:15/14:06 安曇野 IC16:06→金山 19:33

初日：八方池山荘 12:23～扇雪溪 14:31～丸山ケルン 15:04～ 唐松山荘 16:11 2日目：山荘 6:50～唐松岳 7:00～山荘 8:01～丸山ケルン 8:43～ 八方池～八方山 10:35～八方池山荘 11:13

参加者 (7名) CL 村瀬 恭平 SL 大島 巖 SL 中島 美枝 島川 桂子 記録 会計 神戸 志摩 感想 清田 悠一 芝山 美智子



(参加者の感想)

・絶景「八方池」は絶対に見ておきたい景色の一つだったので、夏山山行の唐松岳に参加希望して、願いが叶いました。あとの問題は天気のみ。山頂アタックは真っ白の中ではありませんでしたが、ピークハントは無事完了。後は天気の回復を信じて、真

っ白の中、下山を始めました。下るにつれて雲が切れて山の稜線や下界の景色が見え始めてきて、八方池がはっきりクッキリ見えた時は、嬉しくて叫んでいました。八方池の絶景と色とりどりの高山植物に癒されて至福の二日間を過ごしました。

(芝山 美智子)

・登山開始時の天候は曇りで、風はやや強かったものの、登りやすかったです。その代わり、眺望が雲で隠れてしまい少し残念でした。また、道に関しては例年よりも雪が少なかったようで残雪もほぼなく歩くことが出来ました。丸山ケルンを過ぎ、分岐のあたりから特に視界が悪くなり気を付けながら一日目の目標である小屋に到着。二日目朝から山頂を目指すものの、10m先が見えなくなるほどの視界不良の中の山行となりました。結局山頂までずっと霧がかかった天候で、その後小屋に戻ってから下山、丸山ケルン のあたりからだんだんと登山者が増えすれ違いも困難となる中での下山となり、登山者の多さにびっくりしました。全体として雄大な風景は時々雲から見え隠れする程度でしたが、唐松岳に広がる多様な花、草木に癒やされ楽しい山行となりました。(清田 悠一)



・リフトで 1800mまで登るので登り始めはすぐに呼吸が苦しくなり、呼吸を整えるまで大変でした。雨は途中で止みましたが、登って行くと徐々に風が強くなりました。そのため、山荘手前の急登は特に注意しゆっくり慎重に登りました。唐松岳山頂は、ガスで視界が悪く景色が何も見えなく残念でした。風が強くと瞬間的に突風がくると飛ばされないように足を踏ん張りました。風の怖さを感じました。下山中は、地面が濡れていたため滑らないように足場を確かめながら進みました。ダケカンバの景色、扇雪溪に感激しました。花もいろいろな種類の花を咲いていて、小さくて可愛いので、すぐに足が止まってしまいました。晴天ではなかったですが、景色や花に癒されました。雷鳥に気づかず進んでしまった事が残念でした。

(加藤 恵美)

・八方アルペンラインで一気に1800メートル超の世界へ。息を整えながら、手入れされた登山道をたくさんの高山植物を愛でながら歩きました。軽アイゼンを使うことなく唐松山荘に到着し、東海支部の瀧根さまにもお会いすることができました。翌日は、唐松山荘に荷物を置き、唐松岳へ。

視界不良、そしてかなりの強風で飛ばされそうになりながら無事に登頂。あとから確認するとあの時は風速 15 メートル以上あったとのこと。八方池も美しく、きれいな稜線も眺めることができ、充実した山行でした。支部友員としては最後の夏山山行でしたが、思い出に残る素敵な山行となりました。(神戸 志保)

<リーダーコメント>

天気予報とは、予報結果で6時間以上のズレがあり、風が強く稜線には雲が居座り眺望は今一つでしたが、楽しい山行でした。小屋の支配人の瀧根さんも夕食時に顔を出されて山の話を押聴しました。北アルプス入門コースですが天候の変化に機敏に対処された参加者各位に感謝でした。またこの様な楽しい山行でお会いできるのを楽しみにしております。

.....

<夏山>7月15日(土)～18日(火)☆☆

山城：尾瀬 山名：至仏山(2,228m)

アクセス・ルート

初日：金山 7:00→東別院 IC→中央道→上信越道→関越道→尾瀬戸倉温泉「山びこ」 15:30

2日目：山びこ 6:45→鳩待峠 7:20～山の鼻小屋

8:50～尾瀬ヶ原周遊～山の鼻小屋 9:20～牛首

10:00～竜宮小屋(昼食) 11:00/11:30～牛首 12:50

～山の鼻小屋 13:45 3日目：山の鼻小屋 6:00

～標高 1641m 7:15～高天原 10:04～至仏山山頂

(昼食) 10:42/11:10～鞍部 11:54～小至仏山

12:30～オヤマ沢田代小湿原 13:10～鳩待峠

14:30/15:00～山の鼻小屋 16:00 4日目：山の鼻

小屋 6:50～鳩待峠 9:00～白沢高原温泉望郷の湯

10:40→関越道→上信越道→中央道→金山 17:00

参加者(11名) CL: 榊 将美 SL: 奥野 明美

PL1: 古野 敏彦 PL2: 佐橋 章嘉 会計: 塚

原 恵美子 会計: 藤川 慶子 記録: 野村 亜希

子 生田 晶子 南 千恵子 写真: 河合 泰代

高橋 弘美



(参加者の感想)

・参加者全員が無事安全に下山できたのが何よりですが、ひとえに山行中、メンバーの状態を見ながら、細心の指導をいただきましたリーダーのおかげです。素晴らしい尾瀬ヶ原の景色と雄大な至

仏山とそこからの眺め、一言では語りつくせない感動をいただきました。遠路はるばるという言葉がありますが、その甲斐があり、それ以上の威容・山容・感動が待っていました。良い思い出として、記憶・記録に留めておきます。(古野 敏彦)



・尾瀬ヶ原では、その自然にたっぷり触れながら贅沢な時間を過ごした。同時に山小屋の不自由さというものを知った。至仏山では、登山者で大賑わいで計画より多くの時間を費やした。足元が滑りやすかったが、事前の注意により慎重に対処する事ができた。足のコンディションが整わなかった事、日焼け対策が甘かった事、荷物のパッキングに無駄が多かった事、これらが自分の今後の課題となった。(藤川 慶子)

・初めて訪れる尾瀬は、想像を遥かに超えて雄大でした。群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがるといい、数日だけではとても回りきれない広大さです。尾瀬ヶ原の湿原には大小様々な池塘があり、青空や流れる雲が鏡のように映りとても美しかったです。池塘はとても澄んでおり、アカハライモリの泳ぐ姿もよく見えました。常に鳥がさえずり、トンボが飛び交い、宿の傍には鹿がおり、私は見られなかったのですが、熊や蛇、虫を見たメンバーもいて、尾瀬の自然の豊かさに改めて驚きました。至仏山は蛇紋岩で大変滑りやすく、花や絶景に見とれて気を抜くとツルツと足を取られそうに緊張し通してました。途中、訪れた沼田市にある吹割の滝は、東洋のナイアガラと呼ばれるそうで、下から見上げるのではなく上から見られる珍しい滝で大迫力でした。4日間、心配していた雷や雨や熊に遭わず、メンバー皆が怪我もなく楽しく山行を終えることができ、この先、夏が来るたびに思い出す、余韻の残る印象深い山行となりました。(河合 泰代)

・念願の尾瀬ヶ原に立っていた。念願と言うよりは 尾瀬という名に漠然とした憧れを持っていた様に思う。尾瀬ヶ原は憧れに違わず、広大な湿原に池塘が点在して、その中に延びる木道を歩くとキンコウカの群落、トキソウなど多種多様な花が見られる。前を見ると燧ヶ岳、振り返ると至仏山、広がる湿原には美しい花々、大満足だ。ただ暑かった。涼しい高原ハイキングみたいに考えて

いたが、晴天に恵まれた為、遮るものがない中強い直射日光に照らされ、また、盆地状の地形の為か風もあまりない中を長時間歩いた為、小屋に帰ってきた時には思った以上に疲れていた。翌日はいよいよ至仏山。登山者が多く晴天で暑い事を考慮して出発が30分早くなった。息を整える為の休憩をこまめに取り渋滞もあったので予定より1時間程遅れたが、全員無事に山頂に立つことができた。標高2000mあたりからは高山植物のお花畑で吹く風も涼しく気持ち良く歩くことができた。至仏山から小至仏山を過ぎたあたりまでは岩が多く緊張した。長い下山道を歩いて小屋に着いたのは16時だった。休憩を含めてだが10時間歩いていたことになる。我ながらよく歩いたと思う。状況に応じて計画を変更し、何より、朝早く出発する事が肝要と今回もまた学んだ。

(南 千恵子)

・ずっと行きたかった夏の尾瀬と至仏山は、天候にも恵まれ最高の山行となりました。至仏山は、蛇紋岩が多く事前の情報通り滑りやすく木道も多いため足の運びを気をつけて乗り切りました。途中から見る燧ヶ岳と尾瀬ヶ原の絵葉書のような絶景を見て何度も見とれました。余裕のある計画でペースはゆっくりであり疲れずに登頂、下山することができ快適な山行でした。猛暑で日射が強く、2.5Lの水分ドリンクもぎりぎりまで真夏で水場がない山城は多めに持つべきでした。携帯はソフトバンクが通じず事前の調査不足でした。CLから教えていただいた休憩の仕方、疲れたメンバーのフォロー、年齢やグループ構成を考慮した日程と歩行時間の決め方など学ぶことも多くあり、勉強になる山行でメンバーにも恵まれ夏が来れば思い出す、忘れられない山行となりました。

(佐橋 章嘉)

・2日目鳩待峠から山の鼻小屋までは蛇紋岩の道が歩きづらく感じました。尾瀬ヶ原は往路は燧ヶ岳、復路は至仏山を眺めながら進み、ほぼ予定通りの行動時間でしたが、日陰がなく思った以上に疲労感がありました。歩荷さん・逆さ燧ヶ岳・竜宮現象・帰路のヒツジクサの花など見どころも多かったです。至仏山登りは予定より1時間近く多くかかりましたが、燧ヶ岳と尾瀬ヶ原の眺望と花を楽しみつつ、登り始めはゆっくりと水分補給を多めに、土踏まずより下を使って歩く、鎖場は一人ずつ声出しでなど、学びもたくさんいただきました。また、この他にも今回の山行でリーダーからたくさんの教えをいただき今後の山行に活かして、連れていってもらう山から自分で行く山行をめざしていきたいと思います。

(高橋 弘美)

・全日、好天に恵まれ、念願の尾瀬を満喫する事が出来ました。1400mの標高で、木道を歩いて

いても、とても暑く、細めに休憩を取り、しっかり水分補給を心掛けました。歩荷さんともすれ違い、また、池塘に映る燧ヶ岳の美しいのに感動しました。三日目はいよいよ至仏山！蛇紋岩の鎖場で、滑って転び、リーダーが列の前の方にと言われましたが、まだ大丈夫と思いきのまま登っていましたが、やはり、足が疲れていたのを、良く観察されていました。疲れている時は、ペットボトル1本持ってもらっただけでも、荷が軽くなるのを体験しました。森林限界を少し過ぎた辺りから振り返ると、燧ヶ岳と尾瀬ヶ原の絶景が広がり、頂上への登山道には高山植物の宝庫で、感動の連続でした。

(生田 晶子)

・尾瀬ヶ原では、真っ青な空に映える池塘が鏡の様で、その美しさに感動。翌日の至仏山では、蛇紋岩の急登が大変ではあったが、振り返れば尾瀬ヶ原や燧ヶ岳が見渡せる景色を眺め、こまめに休憩をとりながら何とかやり過ごす。高天原から小至仏山の間では、様々なお花の競演にワクワクし、また癒された。

(野村 亜希子)

・尾瀬ヶ原散策にて至仏山を眺め、至仏山山頂より尾瀬ヶ原を眺めと贅沢な二日間を過ごす事ができました。今回の11名での山行は、全員が山のマナーを心がけることにより、気持ちよく安全に山を楽しむことが出来ることを学びました。リーダーより、すれ違い時に待つ時は、山側に並び山側にザックを向けて立つこと、私達のグループが進む時は、先頭の人が、相手の方に何人グループ人数ですと伝えることなど、全員が意識して山行に臨むことが、重要であると思いました。

(塚原 恵美子)

<リーダーコメント>

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬 遠い空」なんとロマンティックな言葉が似合う山城でしょう。多くの登山者を魅了してやみません。今回は自称ロマンティストの方々とも夢を共有しました。景色に見とれ、鳥の声に耳を澄まし、花々に癒され、樹林帯の変化に心奪われ、そして仲間を思いやる素晴らしい山行になりました。皆さんの日頃の心がけがよく晴天続きで暑い日々でした。熱中症対策として水分補給や行動食摂取、適宜の休憩を心がけたおかげで、無事下山されたこと感謝しています。山岳会としてのチーム山行のあり方をいくつか学びました。ついて行く山行から自主的な山行へ、「自立した登山者」として積極的に山行に参画する意識を持ってください。

“誰かがやる”ではなく“自分は何ができるか”を意識してください。短い山行でしたが、いくつかお話したことを思い出して頂ければ幸いです。「山の数だけ夢がある」この後も充実した山行をお続け下さい。

＜夏山＞7月22日(土) 23日(日) ☆

山城:木曾恵那 山名:富士見台高原(1,739m)
横川山(1,619m)

(往路) 金山 8:55→東別院→小牧 IC→恵那峡
SA10:17→地藏堂パロー買い出し 10:58/11:53→
昼食(苗木城跡) 12:16/13:20→神坂峠 14:52→萬
岳荘 15:02 (復路) 萬岳荘 13:45→クアリゾート
湯船沢 14:30/15:30→内津峠 PA16:33→金山
17:30

コースと所要時間

初日: 萬岳荘 15:00～自炊バーベキュー

2日目: 萬岳荘 7:22～神坂小峠 7:55～富士見台
8:15～標高 1578m地点 9:52～横川山・昼食
10:37/11:04～標高 1578m地点 11:30～富士見台
13:05～萬岳荘 13:38 歩行時間 6時間 15分
参加者(13名)

CL 田中 進 SL 川崎 禎明 SL 石田 猛
会計: 川崎 明子 島田 逸子 記録: 清田 悠一
体操: 熊谷 美喜子 渉外: 鈴木 良明 写真:
長田 浩幸 食事班: 山田 卓 浦野 恵美子
感想: 勅使河原 佳孝 大野 正呼



(参加者の感想)

・萬岳荘から出発してしばらくは草花が茂る草原を歩きました。天候は曇りがちであり、それほど暑くなく行動することが出来ました。富士見台を過ぎると急に笹の背丈が高くなり笹をかき分けて進まなくてはならず進みにくかったです。残念なことに天気は好転することなく横川山に到着してしまい、またのお楽しみとなりました。昼食をとり、帰りはごくまれに日差しが射すときもありましたが、霧の中を進み萬岳荘へと到着しました。展望が見えていたら少し心残りではありますが、横川山までの草花に癒されたりと楽しい山行となりました。(清田 悠一)

・初めてお会いする方との宿泊や初めての登山は不安もありましたが 支部友会の方々を始め、コンパスの使い方や注意する点、登山された山々のお話を聞きながら、楽しく無事に登山を終えることが出来ました。体力も何とか維持できましたので、少し自信になりました。(大野 正呼)



・初日は良い天気で、楽しいバーベキューになりました。2日目はガスが出ていましたが、途中でガスがはれた時間帯もあり、良い景色の中を歩く事が出来ました。笹藪が意外と深く、背の高さよりも高い場所もあり、足元も見え難い所もありましたが、滑らないように注意して歩きました。午後から天気が崩れそうでしたが、その前に戻って来れて良かったです。(山田 卓)

・萬岳荘からの満天の星観察と富士見台高原の頂上からは百名山 23 座を望めるといううたい文句に惹かれて参加を決めた。しかしながら、夜は全く星見えず、翌日もほぼガスの中で眺望はきかなかった。星観察や眺望は望めなかったが、今回は初めて渉外担当として萬岳荘への問いあわせをし、リーダーに報告する役割を与えられた。いかに必要な情報を要領よく問いあわせ、内容をまとめて報告するという過程を学ぶことができた。一つのプランを計画することの大変さを実感した。(鈴木 良明)

・先ず夜食 BBQ 朝食の食材の買物がスムーズに、しかもお値打ちにでき、幸先良いスタートにほっこりしました。苗木城の展望台から昨年、登った笠置山が眺められ感激しました。BBQも食材を残すことなく美味しく楽しく盛り上がり親交が深められました。横川山は登山道が笹に覆われ、所々、苔生した岩場や湿気ったりと緊張しました。見渡す限りの深緑、可憐に咲く笹百合、目を見張るコバイケイソウが見られ楽しかったです。

(浦野 恵美子)

・夏山富士見台登山の7良かったサミット。①ソーメンチャンプルあるからお肉少なめでと、食材班と結託し山程のお肉を買ってよかった。②ワインも日本酒あるからお酒はそんなに買わなくてもこれも食材班と結託し、なんなくクリア。③苗木城見学、山だけでなくいろんな楽しみ方を教えてくれるさすがです。④やっぱりワイワイ BBQ、山の話に笑顔の花が咲きました。⑤お手製ソーメンチャンプルとってもこだわりのある美味しいチャンプルでした。⑥朝食時のお味噌汁。ドキドキうまく作れるか心配だったけど、みなさんに美味しいと、こんなに嬉しかったのは山登り

初。⑦やっぱりみんなと楽しく山登りできたこと。満点の星が曇って見えない。そんなこと関係ないくらいワイワイ楽しく山登りできたこと。この7サミットに参加できてよかった。(長田 浩幸) <リーダーコメント>

日本一駐車場から近い苗木城を見学し昼食を終え、天守閣からこれから向う神坂峠と恵那山の遠望が見事です。狭い山道を車の擦れ違いに注意しながら走行、しかし1台が隠れていた側溝に脱輪、前後の車の男性陣10人の力で30分で脱出しました。萬岳荘に到着直ちに食事の準備をし、小屋主人の許可を得てテラスでカセットコンロを使用してバーベキューとそうめんチャンプルの食事を楽しみました。残念乍ら夕方から曇りになり星は見えませんでした。翌日は小屋から整備された登山道を富士見台迄は1時間、次の目的地の横川山まで標高差400メートルは少しきつい登りでした。ささゆりのシーズンに少し遅く、でもきれいにまばらに咲いていました。晴れたり曇ったりの天候で南アルプス眺望は叶いませんでした。パーティーの息が合い快調なペースで山行できました。

.....
<夏山>7月28日(金)29日(土) ☆☆

山域：南八ヶ岳 山名：編笠山(2,523m)・権現岳(2,715m)

(往路) 金山 6:30→中央道経由→観音平駐車場
(帰路) 観音平駐車場 13:10→八峯苑鹿の湯立寄→中央道経由→金山 18:00

コースと所要時間

初日：観音平駐車場 10:10～雲海 11:08～押手川
昼食 12:07/12:16～落雷事故を防ぐため予定を変更し迂回ルート経由→青年小屋着 13:53(小屋泊)
2日目：青年小屋 6:05～のろし場 6:30 権現岳山頂 7:33～青年小屋 8:55～編笠山山頂 9:48～押手川手前・昼食 11:05/11:21～雲海 12:10～観音平駐車場 12:56 行動時間：初日3時間40分
2日目6時間50分

参加者(6名) CL 倉橋 智司 SL 古野 俊彦
報告：中村 慎吾 記録/写真：中野 徳子
会計：清水 ゆかり 体操：田中 智子
(参加者の感想)

・今回は初めてSLをさせていただいたのですが、参加者全員が無事安全に下山できたのが何よりです。ひとえに事前の下見山行や天候変化を予測し、柔軟に行き帰りのルート変更を行っていただいた倉橋リーダーの統率力のおかげです。早朝の見事な富士山全容、青々とした赤岳・硫黄岳の雄大さ、南アルプスの山並み等、真夏の南八ヶ岳の素晴らしさを十分味わえた山行でした。山行中は岩場と苔で滑りやすく、山岳会で教わった静移動



・静か重、またストックの効能である推進力・制動力・拮抗力等を頭で思い出しながら実践できました。暑いこの時期の登山は、適切な水分補給が欠かせないことも実感できました。いろいろとご配慮いただいた、倉橋リーダーに感謝の一言です。有難うございました。(古野 俊彦)

・名古屋を出発する直前まで山の天気予報の「雷雨」という言葉に不安を抱えながらも、計画通り行けたら良いなと思ってばかりいました。しかし、登り始めて直ぐの小雨や進行方向から聞こえてくる雷の音を判断材料に、倉橋リーダーがコース変更という選択をされたことには、青年小屋に到着した後の激しい雷の音を聞いて改めて感銘を受けました。コースの下見、事前の天気の把握、エスケープルートの想定など、念入りな準備が大切だと感じた山行でした。初めて八ヶ岳という山域に踏み込みましたが、きっとこれから何でも八ヶ岳を訪れることになると思います。(中村 慎吾)

・支部友の初・夏山山行、編笠山・権現岳コースは初めて歩くコースで楽しみにしていました。雷雨予報が少々心配でしたが、1日目と2日目のルートを入れ替えたことで早く到着し、久しぶりの山小屋時間をたっぷり堪能できました。2日目は「富士山と雲海が窓から見えるよ！」の声で起き、権現岳・編笠山ともに大展望と雲海を堪能しました。花々と蜻蛉と苔と木洩れ日が印象的な気持ちのいい登山を満喫した2日間でした。倉橋リーダーはじめ皆様に感謝です。(中野 徳子)

・中身の濃い2日間でも多くの事を学ばせていただき、岩場や梯子はあまり歩いた事がなくリーダーや皆さんには優しくサポートやフォローをしていただき楽しい山行でした。またご一緒の時はよろしくお願いたします。(清水 ゆかり)

・全体に樹林帯とゴロゴロの岩がある登山道が多かったです。綺麗な苔やお花が咲いていました。権現岳は最初樹林帯、途中からガレ場、岩場でロープもあり、気をつけて登りました。雲海、富士山、他の山もよく見えお天気に恵まれました。一日目は雷が鳴り始めたので予定をかえて小屋まで、二日目に権現岳、編笠山に変更しました。いろんな条件を見ての変更の判断出来るのが大事だと思いました。リーダーにガレ場、クサリ場の

通過の仕方、梯子の使い方を教えていただきました。山岳会に入っはじめての泊まりの山行でしたが、お天気、メンバーに恵まれとても楽しく過ごしました。(田中 智子)



<リーダーコメント>

連日の猛暑での天気の不安定さと台風の影響が心配されたが、降水確率も概ね 40%程度だった事で、決行に至った。ガイド本に依れば編笠山～権現岳は八ヶ岳の入門コースとなっているが、事前に下見した印象は、長い樹林帯の登りの編笠山、ガレ場と岩場の連続の権現岳と、入門にしては、かなり厳しい印象だった。参加者全員の力量も把握できない事もあり、下見後に出来る限りの情報を発信し、必要な装備を準備してもらった。自分も万が一の為、ロープ、カラビナ、シュリング等は普段より多めに携行した。当日は思ったより早く雷鳴と少雨があったが、編笠山の往路を復路へ変更した事で安心感はあるが、その分、翌日の行程が長くなり、メンバーの体力が心配された。しかし権現岳の岩場の通過も思った以上にスムーズで計画書のコースタイム通り下山できた。2日間を通して、大きなトラブルもなく、充実した山行だった。

.....
<夏山>8月6日(日)7日(月)☆☆ 山域：八ヶ岳 山名：硫黄岳(2,760m)天狗岳(2,646m) アクセス・ルート

初日：JR名古屋駅 7:00 しなの1号→塩尻 8:57 →茅野 9:28 タクシー桜平 10:40～夏沢鉱泉 11:21～オーレン小屋 12:20 赤岩の頭～硫黄岳 15:09～硫黄岳山荘 15:56 泊 歩行時間 4時間半

2日目：山荘 6:36～硫黄岳 6:57～沢峠 7:53～根石岳山荘 8:57～根石岳 9:30～東天狗 10:07～西天狗岳 10:40～唐沢鉱泉 14:33 タクシー茅野駅 16:00→塩尻 17:03→名古屋 19:07

歩行時間 7時間半

参加者(6名) CL 磯部 隆 SL 黒石 真弓
記録：荒川 章子 会計：大蔵 和代 感想：藤川 慶子 写真：野村 亜希子

(参加者の感想)

・出発前夜は期待と興奮であり眠れず、当日の朝、緊張しながら集合場所へ向かいました。特急

しなの出発の遅れや、在来線への乗り換え時間3分を気にしながらの移動。体調不良を訴えるメンバー。不安を抱えつつ、6人で登り始めました。歩きだすと八ヶ岳の、その豊かな自然に驚かされた。豊富な種類の可憐な花や植物、愛らしい鳥、山一面を覆うフワフワな苔、樹木や鉱泉の香りを楽しみながら、ひたすら登ると、南八ヶ岳の大展望が広がった。堂々とした主峰赤岳と連なる山々の光景に、圧倒され、息をのんだ。硫黄岳へ向かう途中、山はどんどん荒々しくなり、爆裂火口の凄まじい姿を見ることができた。翌朝は青空のもと、西天狗岳直下の急斜面を全身で楽しんだ。この日見た、東天狗岳と西天狗岳の稜線の曲線美! 壮な景色を眺めながらの山歩きはまさに夏山の醍醐味、八ヶ岳連峰を満喫できました。1泊と時間は短いながらも、内容の濃く、深い山行でした。今度はどこの山に行こうかな。(黒石 真弓)



・しょっぱなから電車が遅れたり、乗り換えでダッシュしたりとハラハラでしたが、タクシーは運良くジャンボに変更。登山口からは初めての八ヶ岳に期待と緊張半々でスタートです。雨に備えて途中ルート変更するも1日目はずっと晴れ、赤岩の頭では横岳・赤岳・中岳・阿弥陀岳がくっきりと姿を見せ、魅了されました。硫黄岳の爆裂火口の迫力も圧巻でした。2日目は雲が背後から付かず離れず追いかけて来るものの降られはせず、東天狗岳・西天狗岳まで快調に進みました。雲の無い北側と西側は眺望が開け広大な森林が広がり下界は諏訪湖まで見渡せました。そこから下山口の唐沢鉱泉までの降りは長く歩きにくく、とても時間を要しました。膝のコンディションを整えるのが課題です。道中、高山の花々や野鳥が目と耳を楽しませてくれました。(藤川 慶子)

・憧れの八ヶ岳デビュー山行。苔むした樹林帯を抜け赤岩の頭～硫黄岳に到着。眼下には雲の合間から茅野の街並みや諏訪湖。振り返ると南には赤岳のパノラマビューに感動しました。山頂付近の稜線では浮き石やガレ場が多く神経をつかいました。翌日は西天狗からの岩場の下りで不安もあ

りましたが、リーダーフォローの下、緊張しつつも楽しく下り終える事が出来ました。岩稜帯に咲く健気な花々を眺めつつ、眺望も楽しめ、アスレチック感のあるルート。どれをとっても大満足の素晴らしい山行でした。(野村 亜希子)

・硫黄岳は今回で3回目。いつもお天気に恵まれなくて、ガスの景色しか見たことがなかったのですが、やっと爆裂火口跡を見ることができとても迫力がありました。八ヶ岳の山々も見ることもでき、稜線歩きがとても気持ち良かったです。今回はゆっくりのペースで、景色や花を楽しむことができた2日間の山行でした。(大倉 和代)

・桜平登山口へのタクシーで酔ってしまい申し訳ありませんでした。山行中は雲が私たちを追いかけてくる事もありましたが前方には青空も見られ楽しい山行となりました。硫黄岳の爆裂火口は迫力がありました。安全に下山できたことに感謝いたします。(荒川 章子)



<リーダーコメント>

入山登山口の事で、ずっと迷っていたが、直前になって、思い切って変更し結果的には良かったかと思う。タクシー代の負担を倍にしても、山荘までの所要時間を2時間以上短縮できるルートを取るかどうかの悩みであった。午後からの雷雨の可能性を考慮すると、小屋には、遅くとも午後4時には、着きたかったからであった。雨は覚悟はしていたが、初日の夜中に、かなり降ったようであったが、幸い山行中は降らなかった。

しかも、二日目も空全体はかなり雲に覆われていたが、天狗岳近辺の頭上は一部青空さえ覗かれた。体調は皆が良かったわけではないが良く頑張られた。特に西天狗からの急な岩場の長い下りも克服された。もっとも、そこから下山口の唐沢鉦泉まではかなり時間がかかってしまい、お風呂、食事を楽しむ時間は無くなったが、それでも皆さんのあの明るさとおしゃべりには救われた。汗だく、腹ペコで、名古屋まで帰るのに。まあ、何よりも、全員無事下山できた事が一番であった。日帰り山行と違って、連泊だと、疲労は日ごとに蓄積するので、それに負けないくらいの体力を日頃から意識して、自然体でもよいので、養う努力は

したいものだと感じた。山を楽しむためにも!

<夏山>8月25日(金)~27日(日)☆☆☆

山域:北アルプス 山名:槍ヶ岳(3,180m)

(往路)ジャパンレンタカー名駅7:08→名古屋高速・東海北陸道→沢渡梓第2P10:25→沢渡BT11:04→上高地 BT 11:35(復路)上高地 BT 17:15→沢渡 梓第2P17:45→名古屋高速・東海北陸道~名駅 23:15

コースと所要時間

初日:上高地 BT11:35(準備・昼食)12:05/13:10 明神・徳沢 14:10~横尾 15:30 泊 2日目:横尾 4:50 ~槍沢ロッジ(朝食) 6:30~大曲 8:30~天狗池分岐 9:30~坊主岩小屋 11:30~槍ヶ岳山荘 13:05(昼食)~槍ヶ岳頂上 14:30 14:50 槍ヶ岳山荘 15:10(泊) 3日目:槍ヶ岳山荘(朝食) 5:55~坊主岩小屋 7:00~天狗池分岐 7:45 天狗池往復 9:50/11:55 槍沢(昼食) 11:55/12:20~横尾山荘 14:00 ~上高地 BT17:10

(参加者)

CL:高松 信治
SL:林 須美子、
中島 美枝
会計:浦野 恵美子、
南 千恵子
登山部部长:
山田 卓
記録:塚原恵美子、
南 成寿
写真:稲葉 華子



(参加者の感想)

・無謀とも思える「槍ヶ岳」への挑戦、しかも自分たちで登山計画を練り上げなければならず、躊躇した、しかしこの機会を逃したらと意を決して参加申込をした。体力増強に努めたつもりだったが、訓練登山で熱中症になってしまい不安は募るばかりだった。やっとの思いで辿り着いた槍ヶ岳山荘・一步一步細心の注意を払いながらの槍の穂先への往復、涙あふれ仲間と抱き合った瞬間、掛け替えのない山行になった。体調管理・体力のペース配分・荷物の軽減これからの山行の肥やしになりました。(浦野恵美子)

・今回は自分たちで計画し、山小屋も手配しました。ルート上の注意点もみんなで出し合いました。最初から決められたコースを歩く山行とは違って達成感が非常に大きかったです。雨が心配でしたが天気に恵まれ素晴らしい山行になりました。反省点としては、行動食が少なく空腹で心配な区

間があった事ですが、全体としてはみんなでカバーし合って頑張れたと思います。（山田 卓）



高松リーダーの“メンバーで計画を立てて、槍ヶ岳に登ろう”の説明に心トキメキ参加しました。お会いした事のないメンバーと LINE で計画を作成し、参加者全員で槍ヶ岳の穂先まで登る事ができ、下山時にはすっかり山友になっていました。山の力は、凄いと感じて実感できた山行でした。

（塚原 恵美子）

・槍ヶ岳山行にあたり、事前にリーダー企画の訓練を 2 回参加できたことは不安な気持ちをととても軽減してくれました。岩場での三点支持、鎖の持ち方、歩き方など細かく指導いただきました。初日の歩きはほぼ高低差もないのでちょうどよいウォーミングアップでした。横尾山荘は快適でいよいよ 2 日目の本格的な登りはゆっくりのペースで良い調子でしたが、高度が上がるにつれ息も荒くなりキツかったです。深呼吸のアドバイスをもらい、なんとか無事槍ヶ岳山荘にたどり着くことができました。穂先へは訓練のおかげで全く不安になりませんでした。最高の達成感を味わうことができました。最終日高山病の気が出て食欲が出ず皆さんにご心配をおかけしましたが天狗原へ行け、素晴らしい逆さ槍を見ることができとても良い思い出になりました。（稲葉 華子）

・槍ヶ岳登山部の経験は、私にとって一生の思い出となる素晴らしい冒険でした。山を登る過程で出会った予期せぬ困難に向き合うことで、計画と準備の重要性、そして慎重な戦略がどれほど大切な役割を果たすかを学びました。特に CL・SL は、成功に向かって進むための指針となりました。そして、仲間たちの励ましや協力も、難関を克服する際の原動力となりました。北アルプスの山々の風景は、自然が織り成す驚異的な美しさに心が震えました。同時に、その壮大な風景の前に自分の小ささを感じました。困難な瞬間を含めて、これらの経験が私の成長に不可欠な一環であることを確信しています。この感動を胸に刻み、将来の挑戦に向かう際にも、槍ヶ岳の偉大さとそこで

の学びが私の中で輝き続けます。（南 成寿）

・槍ヶ岳登山部の最後のメンバーに加えていただいた時にはもう登山は始まっていた。コース選択から始まり皆で登山計画書を作成していった。今まで個人山行の時にはここまで綿密にしていなく 自分の杜撰さを反省すると共に今後の山行の計画に活かしていきたい。また、メンバーのエネルギーや行動食の種類や取り方についても色々参考になり、情報も得る事ができて有難かった。疲れからくる緊張の緩みと足の疲労から下山時に三度も転んでしまった。幸い何事もなく良かったが 下りの苦手はまだまだ克服していかなくはいけない私の課題だ。標高差 1500m を登り切り、岩を攀じ登って槍の穂先に立てた時は本当に嬉しかった。今回の山行で少しは成長したかと思う。（南 千恵子）

・高松 CL の初の試みとして実施された「槍ヶ岳登山部」は立ち上がりから皆さんの槍ヶ岳への思いが深く、打ち合わせの段階で盛んな意見交換がなされました。当日も歩行が辛そうな参加者を皆で励まし合い「絶対、全員で登頂するぞ！」と言う姿勢が眩しく感じました。その中で SL の私はなかなか上手く立ち回れず、お役に立っているか不安に感じながらも全員無事登頂した喜びを共有出来、感動すら感じました。（林 須美子）

・人の思いは通じるものかと思えるほど、いつもいつもタイミングよく素晴らしい景色を見る事が出来ました。全員が登頂でき記念写真を撮る時は感激でウルウルしてしまうほどでした。今回は、副顧問として参加しましたが何も出来ず反省ばかりですが、歩行スピードや休憩のタイミング、歩く順番など全員がどうしたら安全に楽しく登頂・下山できるかを考える事を学んだ気がします。

（中島 美枝）

<リーダーコメント>

今回の夏山山行はこれまでと異なり、参加者が槍ヶ岳登山部の部員となって主体的に登山計画をつくり、それぞれが役割を果たすことにより登頂にいたるとのコンセプトで行いました。参加者からの積極的な意見・提案により無事に登山計画がまとまり、支部友委員会の審査を通過できた時は成功を確信しました。お陰様で、山小屋の予約も皆の力で確保でき、山行期間中は天候にも恵まれ、参加者全員が当事者意識をもって行動する様子は頼もしく、頂上アタックにも果敢に取り組み、無事笑顔で登頂できて、心から有難く思っています。参加された皆さんには今回の経験を元にこれからの登山にも主体的な態度で向かっていただければと願うところです。

.....

令和6年1月～3月の山行計画!

<メールで携帯からはSMSで山行

リーダーにお申込み下さい。>

- ・申し込み開始は 山行日の3か月前から、
優先は1ヶ月 その後支部員も申し込み可、
月に原則2山行までとします。
- ・山行日・山名・会員番号・氏名・住所
- ・電話(携帯電話)・生年月日・血液型
- ・加入保険名 緊急連絡先(その関係)

☆山行グレード

- ☆ 1日の累計標高差(登り) 600m以内、
歩行時間4時間程度の山
- ☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m以内、
歩行時間6時間程度の山
- ☆☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m超過、
歩行時間6時間超過の山

リーダー連絡先

尾上 昇 onoe@onoe.co.jp 090-1741-4926
金谷 正起 kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp
090-9931-3600
榊 将美 m.sakaki@minds-consulting.jp
090-7237-4410
松本 陽子 yo-kom@nifty.com 090-7859-4031
田中 進 t-susumu@peace.ocn.ne.jp
090-9191-8666
磯部 隆 takass@yk.commufa.jp
090-9180-7245
高松 信治 takama2nobu3@yk.commufa.jp
090-3156-5268
今津 英一朗 imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp
090-2616-7549
村瀬 恭平 hoshizakari@docomo.ne.jp
090-4186-9876
近藤 政仁 vft55ud55@gmail.com
090-2183-8125
倉橋 智司 ilyt6by8@qc.commufa.jp
090-8673-7180
奥野 明美 tac-okuno@mbi.nifty.com
090-9923-4292
池戸 美恵 noboruonna@icloud.com
090-1294-0415
川崎 禎明 y.kawa715@gmail.com
090-2131-7695
久野 輝美 kuno4895@hotmail.com
090-7575-4521
林 康太郎 koutaropippi@gmail.com
090-2949-0544

1月7日(日) ☆ 募集開始10月7日

山域:愛岐丘陵 山名:鳩吹山(314m)

ルート:真禅寺登山口～鳩吹山～西山休憩舎～大

平山ルート～大平山～寂光院→新年会会場→金山

歩行時間:約4時間

集合:金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間:午前8:00 出発 交通:マイクロバス

参加費:8,000円 募集:20名 雨天決行

統括リーダー:尾上 昇 リーダー:田中 進

ポイント:新年初登山と初詣(寂光院)と新年会の欲

張り山行。木曾川の清流、犬山城を見下ろしなが

らの尾根歩きです。

申込みはリーダー田中

1月8日(月祝) ☆☆ 募集開始10月8日

山域:焼津アルプス 山名:満観峰(470m)

ルート:花沢の郷観光駐車場登山口～法華寺～鞍掛

峠～満観峰～花沢山～日本坂峠～駐車場

歩行時間:4時間30分

集合:金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間:午前7:00 出発 交通:マイカー

参加費:交通費実費 募集:4名

リーダー:今津 英一朗 雨天:中止

ポイント:新春のおめでたい富士山を眺め、一年の

安泰を祈念。

1月13日(土) ☆☆ 募集開始10月13日

山域:紀伊山地 山名:朝熊ヶ岳(555m)

ルート:朝熊駅～であいの広場登山口～朝熊ヶ岳頂

上～金剛證寺(奥の院往復)～朝熊峠～であいの

登山口～朝熊駅 歩行時間:4時間50分

集合:近鉄名古屋駅 正面改札口

時間:午前7:00 集合 交通:近鉄利用

参加費:約3,800円(実費・ICカード利用可)

リーダー:奥野 明美 募集:5名 雨天:中止

ポイント:伊勢百景に選定されている朝熊山に登り、

伊勢神宮の鬼門を守っている金剛證寺に参詣。

1月21日(日) ☆ 募集開始10月21日

山域:袋井・掛川市 山名:小笠山(265m)

ルート:法多山の湯駐車場～小笠山神社～小笠山～

法多山～駐車場 歩行時間:約5時間

集合:金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間:午前6:50 出発 交通:マイカー

参加費:交通費等実費 募集:3名

リーダー:近藤 政仁 雨天:中止

ポイント:厄除け観音の法多山参拝富士山を眺める。

1月27日(土) ☆☆☆ 募集開始10月27日

山域:鈴鹿 山名:御在所岳(1,212m)

ルート:三交湯ノ山～藤内小屋～国見峠～山上公園

～御在所岳山頂～国見峠～藤内小屋・三交湯ノ山

歩行時間：約 6 時間 30 分
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:00 出発 交通：マイカー
参加費：交通費実費 募集：3 名
リーダー：高松 信治 雨天：中止
ポイント：この 1 年間の登山の集大成として新年の
山行は鈴鹿山脈の盟主へ雪山登山。今後に向けて
雪上歩行の基礎を学びつつ雪の裏道にトライ。
.....

1 月 27・28 日(土日) ☆☆ 募集開始 10 月 27 日
山城：長野 山名：乗鞍高原・上高地 (1,500m)
ルート：1 日目乗鞍高原氷滝巡り 3 時間
2 日目 釜トンネル～河童橋 往復 6 時間
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:30 出発
交通：コンピューターバス 参加費：23,000 円
リーダー：金谷 正起 募集：9 名 雨天：決行
ポイント：沢渡のペンションに泊まり。初日氷瀑巡り、
翌日は上高地の誰も居ない特別ルートを生ノハイ
キング、スノーシューズレンタル可。
.....

2 月 3 日(土)☆☆ 募集開始 11 月 3 日
山城：鈴鹿山脈 山名：嶽不動・兎の耳
ルート：三交湯ノ山～藤内小屋～嶽不動～山岳寺跡～
兎の耳～天狗の踊り場～駐車場 歩行時間：5 時間
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:00 出発 交通：マイカー 2 台
参加費：約 3,000 円
リーダー：田中 進 募集：8 名 雨天：雪決行
ポイント：初級アイゼン歩行、ストック等雪山装備要。
.....

2 月 4 日 (日) ☆☆ 募集開始 11 月 4 日
山城：南信州 山名：高峰山(1599m)長者峰(1,574m)
ルート：道の駅信州平谷～長者峰～高峯山
歩行時間：約 5 時間 30 分
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:00 交通：マイカー
リーダー：今津 英一朗 募集：4 名 雨天：中止
ポイント：初級アイゼン、ストック他、雪山装備要。
.....

2 月 11 日 (日) ☆ 募集開始 11 月 11 日
山城：岐阜北部 山名：百々ヶ峰 (418m)
ルート：松尾池駐車場分岐～岩場～百々ヶ峰～林道出
合～権現山～白山展望地～萩の滝～駐車場
歩行時間：約 4 時間
集合：金山 旧日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:00 交通：個人車 参加費：実費
リーダー：倉橋 智司 募集：5 名 雨天：中止
ポイント：岐阜市の最高峰を眼下に岐阜市内、長良川
を見ながら周回します。途中、短い岩場の通過あり。
.....

2 月 17 日(土) ☆ 募集開始 11 月 17 日
山城：滋賀野洲 山名：三上山(近江富士) (432m)
ルート：野洲駅～登山口～山頂～北尾根縦走路～田中
山～野洲駅 歩行時間：約 4 時間半
集合：JR 名古屋駅中央改札口前
時間：午前 7:30 交通：公共交通機関(JR)
参加費：交通費実費 約 5,000 円
リーダー：磯部 隆 募集：5 名 雨天：中止
ポイント：山頂から琵琶湖の眺め北尾根縦走路を経て、
野洲駅までは、距離もあり低山ながら十分楽しめる。
.....

2 月 18 日(日) ☆☆ 募集開始 11 月 18 日
山城：恵那 山名：富士見台 (1,739m)
ルート：駐車場⇒リフト山頂駅～千両山～神坂峠遺
跡～富士見台～神坂小屋～萬岳荘～神坂峠～リフ
ト山頂駅⇒ヘブンスそのはら駐車場
歩行時間：約 6 時間
集合：地下鉄鶴舞線赤池駅ロータリー
時間：午前 6:30 マイカー 参加費：交通費等実費
リーダー：久野 輝美 募集：3 名 雨天：中止
ポイント：ゴンドラとリフトを使うので累積高度 540
m と急斜面のない眺望満喫のスノーシューハイク。
.....

2 月 25 日 (日) ☆☆ 募集開始 11 月 25 日
山城：鈴鹿山脈 山名：藤原岳 (1120m)
ルート：大貝戸登山口～6 合目～避難小屋～雪山歩行
トレーニング 歩行時間：約 5 時間
集合：金山 日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 7:00 個人車 参加費：約 4000 円
リーダー：近藤 政仁 募集：3 名 雨天：中止
ポイント：アイゼンとストックの雪山歩行入門
.....

3 月 7 日(木) ☆ 募集開始 12 月 7 日
山城：渥美半島 山名：田原アルプス
衣笠山 (278m) 滝頭山 藤尾山
ルート：三河田原駅～衣笠山～滝頭山～滝頭公園～三
河田原駅 所要時間：約 4 時間
集合：JR 金山駅 7:00 又は豊橋駅 8:20
参加費：約 3,000 円 (交通費実費)
リーダー：田中 進 募集：7 名 雨天：中止
ポイント：三河湾の眺望を楽しむ、遠く蒲郡本宮山を
見ながら渥美半島の平日トレッキング
.....

3 月 10 日 (日) ☆ 募集開始 12 月 10 日
山城：豊田 山名：猿投山 (630m)
ルート：登山者駐車場～東尾根登山口～東の宮～猿投
山山頂～南尾根分岐～血洗の滝～支尾根取付～武
田道合流～城ヶ峰道分岐～広沢城址～駐車場
歩行時間：約 7 時間
集合：地下鉄鶴舞線赤池駅ロータリー
時間：午前 6:30 出発 マイカー参加費：実費精算

リーダー：久野 輝美 募集：3名 雨天：中止
ポイント：静かな山歩きを愉しめる尾根をつないだ周
回コース。GPS（スマホアプリ）と紙の地図とコン
パスを使ったナビゲーションを愉しみます。

3月16日（土）☆☆ 募集開始 12月19日
山城：瀬田・三雲 山名：金勝アルプス
鶏冠山（491m）・竜王山（605m）
ルート：一丈野キャンプ場～落ヶ滝～鶏冠山～天狗岩
～白石峰～竜王山～白石峰～狛坂磨崖仏～桐生辻
分岐～オランダ堰堤～一丈野キャンプ場
歩行時間：約6時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前6:30 出発 交通：マイカー
参加費：約4,000円 交通費等実費

リーダー：川崎 禎明 募集：8名 雨天：中止
ポイント：滋賀の名低山で奇岩、岩稜、渡渉を楽しむ。

3月23日（土）☆☆ 募集開始 12月23日
山城：奥三河東栄町 山名：三ツ瀨明神山（1016m）
ルート：尾籠駐車場～尾籠岩山登山口～三点支持～三
ツ瀨明神山～三点支持～尾籠岩山～尾籠駐車場
歩行時間：約5時間

集合：金山 日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前7:00 交通：個人車 参加費：5000円

リーダー：近藤 政仁 募集：3名 雨天：中止
ポイント：桃源郷から三ツ瀨明神山の北尾根を歩き、
花の郷を散策。（三点支持トレーニング）

3月30日（土）☆☆ 募集開始 12月30日
山城：奥三河新城 山名：上臈岩（430m）百畳岩
ルート：モリトピア愛知～シャクナゲ尾根登山口～東
尾根分岐～東尾根展望台～上臈岩～中上臈～百畳
岩～中尾根 P395 ～モリトピア愛知
行動時間：約7時間30分

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
交通：午前7:00 個人車 参加費：交通費実費

リーダー：池戸 美恵 募集：4名 雨天：中止
ポイント：上臈岩手前のロープ場を安全に登下降、絶
景を楽しむ。百畳岩を安全に通過する。

3月31日（日）☆ 募集開始 12月31日
山城：瀬戸 山名：物見山
ルート：海上の森～五叉路～物見山～赤猿峠～日本山
岳会土地～海上の森

集合：地下鉄『東山公園』3番出口
時間：午前7:30 交通：マイカー2台
参加費：2,000円 募集：8名 雨天：中止

リーダー：金谷 正起
ポイント：山を楽しむための地図読みの基礎を猿投山
山麓の道無き道を歩きながら学びます。



支部友会 新委員 紹介

16393 久野輝美



本格的登山は半世紀以上前、大学山岳部で薫陶を受けました。15年ほどで山と無縁の生活になりましたが50代に入ったころ登山を再開し社会人山岳会で現代登山に出会しました。いま自分の登山人生最終段階に入り、登山の入り口に立った人

と共に登山の楽しさと安全の核となるリスクマネージメントの知見・技術などを一緒に楽しみながら学んでいきたいと思っています。



15935 林康太郎

個人的な登山を優先して昨年9月に個人的1つの目標であった日本百名山を完登し、時間的に余裕が出来た今、これから登山を始められる方に山の楽しさを知っていただきたいとの思いで今回入会しま



した。「楽しく登る！」がモットーですこれから始められる皆さまが、何を目標とされているかを感じながら、その目標に向けた指針をアドバイスし、自力で目標に向かっていただけるようにしていきたいと考えています。



15756 澤田恵理



10年ほど前に山ガール講座を受講し、その後東海支部に入会しました。

トレッキングクラブで活動していますが、今回支部友の活動にも携わらせて頂くことになりました。仕事上、コロナ禍は全く外出が出来ず、山へ行くことが出来ませんでした。これからは、皆さんと色々な山へ登り、学びを深めたいと思っています。宜しくお願いします。



久野さん林さんには来年より山行リーダーを澤田さんはサブリーダーをお願いしました。（委員長）

2024年上期 4月～9月 支部友山行スケジュール

東海支部友委員会

| 月度 | 日 | 曜 | 募集開始 | 締切 | 募集人数 | グレード | 山域 | 山名 | リーダー | 備考・目的 |
|----|--------|-----|-------------------------------|------|------|------|-----------|-------------|------|----------------------|
| 4月 | 6 | 土 | 1/6 | 3/6 | 8名 | ☆ | 瀬美半島 | 雨乞山・大山 | 田中 | 花の瀬美半島トレッキング |
| | 7 | 日 | 1/7 | 3/7 | 5名 | ☆☆ | 各務原市 | 城山・明王山・八木山 | 磯部 | 低山ながらのアップダウン多い |
| | 9 | 火 | 支部友ミーティング (夏山の誘い出席者は先行申し込み受付) | | | | | | | 支部ルーム |
| | 13 | 土 | 1/13 | 3/13 | 3名 | ☆ | 京都 東山 | 大文字山 | 村瀬 | 崖上から大文字山へ火床頂上から哲学の道へ |
| | 13 | 土 | 1/13 | 3/13 | 7名 | ☆☆ | 奥三河 | 湯谷富士 | 林(康) | 急登・岩稜・ルーファイ |
| | 14 | 日 | 1/14 | 3/14 | 3名 | ☆☆ | 鈴鹿山脈 | 竜ヶ岳 | 今津 | 春の鈴鹿 |
| | 20 | 土 | 1/20 | 3/20 | 3名 | ☆☆ | 木曾谷・木曾山地 | 風越山(上松町) | 高松 | バイカオウレンに会いに |
| 5月 | 1 | 月 | 2/1 | 4/1 | 7名 | ☆ | 伊那市 | 戸倉山 | 川崎 | 伊那富士と呼ばれる名山 |
| | 11 | 土 | 2/11 | 4/11 | 5名 | ☆ | 飛騨木曾川国定公園 | 継鹿尾山・鳩吹山 | 村瀬 | 寂光院からの周遊コース |
| | 11 | 土 | 2/11 | 4/11 | 7名 | ☆☆ | 奥三河 | 岩古谷山 | 林(康) | ちよつとした岩稜を楽しむ |
| | 18 | 土 | 2/18 | 4/18 | 7名 | ☆ | 名張市 | 赤目48滝・長坂山 | 田中 | 溪谷歩きと新緑を堪能 |
| | 26 | 日 | 2/26 | 4/26 | 3名 | ☆☆ | 越美山地 | 三周ヶ岳 | 今津 | 初夏の奥美濃 |
| | 26 | 日 | 2/26 | 4/26 | 3名 | ☆☆ | 福井県 | 荒島岳 | 近藤 | 日本百名山(三点支持) |
| 6月 | 1・2 | 土・日 | 3/1 | 5/1 | 5名 | ☆ | 鳥取市 | 伯耆大山 | 川崎 | 「夏山開き祭」の前夜祭たいまつ行列に参加 |
| | 8・9 | 土・日 | 3/8 | 5/8 | 3名 | ☆ | 北八ヶ岳 | 北横岳・楨枯山・茶臼山 | 村瀬 | 豪華ヒュッテに前日宿してゆつくりと歩く |
| | 8 | 土 | 3/8 | 5/8 | 3名 | ☆☆ | 木曾谷・木曾山地 | 南木曾岳 | 林(康) | 中央アルプスの景色を楽しむ |
| | 11 | 火 | 支部友ミーティング | | | | | | | 支部ルーム |
| | 16 | 日 | 3/16 | 5/16 | 3名 | ☆☆ | 奥美濃 | 鏡子ヶ峰 | 高松 | 白山信仰の道 石徹白大杉 |
| | 22・23 | 土・日 | 3/22 | 5/22 | 5名 | ☆☆ | 中央アルプス | 木曾駒ヶ岳・宝剣岳 | 磯部 | 上松から入山、駒ヶ根へ下山 |
| 7月 | 6・7 | 土・日 | 夏山4/9 | 6/6 | 4名 | ☆☆☆ | 中央アルプス | 宝剣岳・三ノ沢岳 | 池戸 | 千畳敷ホテル又は宝剣山荘泊 |
| | 12 | 金 | 夏山4/9 | 6/12 | 3名 | ☆ | 北八ヶ岳 | 蓼科山 | 村瀬 | 七合目登山口からの往復 |
| | 20・21 | 土・日 | 夏山4/9 | 6/20 | 10名 | ☆ | 木曾恵那 | 富士見台高原～横川岳 | 田中 | 萬岳荘茶泊まり自炊 |
| 8月 | 2・3 | 金・土 | 夏山4/9 | 7/2 | 5名 | ☆☆ | 南アルプス | 鳳凰三山 | 磯部 | 夜叉神峠から縦走。JR蘆崎へ |
| | 13 | 火 | 支部友ミーティング | | | | | | | 支部ルーム |
| | 23～25 | 金～日 | 夏山4/9 | 7/23 | 5名 | ☆☆☆ | 南アルプス | 仙丈ヶ岳 | 高松 | 夏山(テント山行) |
| | 30～9/1 | 金～日 | 夏山4/9 | 7/30 | 7名 | ☆☆ | 山梨 | 七面山・身延山 | 林(康) | 宿坊体験・二百名山 |
| 9月 | 8・9 | 日・月 | 夏山4/9 | 8/8 | 3名 | ☆☆ | 奥秩父 | 瑠璃山・金峰山 | 近藤 | 日本百名山(三点支持) |
| | 8 | 日 | 6/8 | 8/8 | 3名 | ☆☆ | 比良山地 | 武奈ヶ岳 | 今津 | 比良山系最高峰 |
| | 28 | 土 | 6/28 | 8/28 | 8名 | ☆ | 瀬戸 | 物見山 | 金谷 | 新入会員歓迎山行(詔園) |

支部友ミーティング開催のお知らせ

「報告」第59回 8月8日(火) 支部ルーム
テーマ：ヒマラヤ登山 今昔 19:00~20:30
講師：尾上 昇 氏

(元日本山岳会会長 東海支部常任評議員)



参加者：31名
(支部友会員 14名
支部員 17名)
(講義内容)

ヒマラヤ登山の歴史は18世紀の中頃から始まり、1953年のエベレスト初登頂そして1970年の東海支部に

よるマカルー南東稜初登頂で大登山隊の時代はピークを迎えました。しかし現在はアルパイン登山が主流です。ベースキャンプを少人数で設営し、アタックは2人のスタイルに今は変わりました。尾上氏はマカルー登山隊の中核メンバーの一員として深くかかわり、ネパール政府に登山許可を自民党幹事長田中角栄氏の働きかけで取得、これはヒマラヤ登山解禁後第1号でした。又、資金集めや物資13トンの荷物輸送等の苦労話を熱く語られました。

このマカルーの詳しい記録は「追憶のヒマラヤ マカルー裏方繁忙録 1970」中部経済新聞社から令和2年に発行され、現在も書店に並んでいます。(田中 記)



「予告」第60回 10月14日(土) 15日(日)
テーマ「朝明ミーティング」

朝明茶屋キャンプ場 初日：分散登山後 BBQ
キャンプファイヤー

2日目：講演 ファーストエイド講習会

「予告」第61回 12月12日(火)

テーマ「忘年会」 19:00~21:00

場所：レストラン リビエール

(セントヒサヤビル 11F名古屋テレビ塔西)

一年間を振り返り山の思い出を語り親睦を深め合います。久しぶりの忘年会です。新入会員の歓迎会も兼ねますので奮ってご参加ください。(会費：3,500円予定)

支部友会々員数

9月末 入会2名 退会1名 現在64名

新入会員(7月~9月) 52058 杉浦 充代

52059 長島 健 52060 花田 玲子

52061 佐治 真吾 52062 佐治 恵

52063 山田 誠一 52064 神田 昌彦

52065 五島 健一 52066 大野 正呼

52067 坂上 美優 52068 中島 祥那

52069 中山 静雄 52070 安田 秀則

52071 杉浦 いずみ 52072 嶋出 梓

52073 西山 可那子 52074 橋本 梅雄

編集後記

第9回夏山フェスタの実施に依り支部友会に13名の皆様が入会していただきました。新会員の平均年齢は53歳と若い人が目立ちました。

支部友会事務所連絡先

〒460-0014 名古屋市中区富士見町

8-8 OMCビルB-1 東海支部内

<http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php>

FAX052-322-7924

編集責任者(田中進 090-9191-8666)